

# 堆肥をもっと使いやすく！ 朝日アグリアの「指定混合肥料」シリーズ

朝日アグリア(株)では、2019年の肥料取締法改正にともない、2020年に施行された配合規制の見直しを受け、新たに創設された「指定混合肥料」シリーズをいち早く開発しました。現在、主に3銘柄を東日本エリアで販売を開始しています。

## 「指定混合肥料」の開発経緯

以前の肥料取締法では、硫酸やリン安、塩化カリなどの普通肥料と、特殊肥料である堆肥を混合して製造・販売することは禁止されていました。そこで2012年に一度法改正が行われ、家畜ふん堆肥や食品系堆肥を配合した「混合堆肥複合肥料」の規格が新設され、化成肥料と堆肥の混合が可能となりました(図1)。

朝日アグリアは、この法改正を受け、全農と「混合堆肥複合肥料」エコレットシリーズを共同開発し、2013年から国内で初めて販売を開始、

その後、年々販売量も増加しています。ただし、「混合堆肥複合肥料」で使用できる堆肥は、C/N比や成分量などの一定の基準を満たしたものに限られ、家畜ふん堆肥発生量の半分以上を占める牛ふん堆肥の使用は実質困難でした。

それに対し、2020年に新設された「指定混合肥料」では、使用する堆肥についての、C/N比や成分量などの多くの制限が撤廃され、堆肥などの特殊肥料や土壌改良資材が使いやすくなり、特に牛ふん堆肥の活用に大きく道が拓けました。

そこで、朝日アグリアは、堆肥施用における耕畜双方が抱える課題を解決するため「指定混合肥料」シリーズを開発・発売しました。

## 「指定混合肥料」シリーズ

### 「農家想い454」

### 園芸作物向けオールインワン肥料

園芸作物の栽培に必要な堆肥(牛ふん)・腐植酸+石灰+NPK化成肥料+微量元素を配合してペレット化した肥料です。

一度に多くの要素をまと

めて施肥できるので、肥料散布作業の大幅な省力化が期待できます。また、各肥料成分を堆肥と混合してペレット化しているため、窒素の硝化抑制効果や、リン酸などの肥効増進、土壌pHの安定化など、生産者が期待する肥効を安定して得られるメリットがあります。

### 「稲サボ」

### 堆肥入り水稲向け総合土壌改良資材

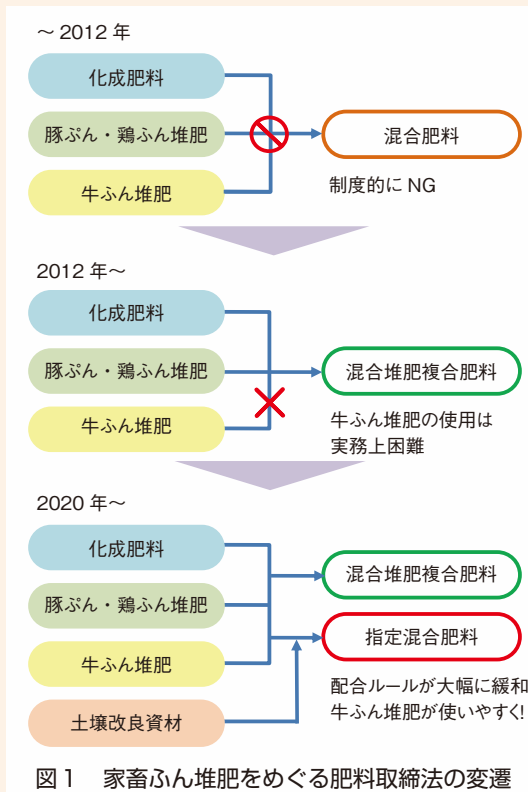
堆肥(牛ふん)に加え、水稲栽培に重要なケイ酸、秋落ちおよびごま葉枯病の軽減効果が期待されるマンガン、高窒素一発型肥料の普及で不足しがちなリン酸・カリを配合してペレット化した肥料です。

水田で施用量が減少している堆肥を、水稲栽培に必要な成分と同時に施肥できるので、土づくり肥料散布作業の大幅な省力化が期待できます。



今後も、国内の貴重な資源である堆肥を活用した肥料を開発・販売していきますので、皆さまの土づくりにお役立てください。

●問い合わせ先  
朝日アグリア(株) 営業推進室  
☎0274-52-2732



### 農家想い454

### 園芸作物向けオールインワン肥料



### 成分例(%)

窒素	リン酸	カリ	マグネシウム	マンガン	ホウ素	アルカリ分
4.0	5.2	4.2	2.7	0.5	0.25	18.0

### 稲サボ

### 堆肥入り水稲向け総合土壌改良資材



### 成分例(%)

リン酸	カリ	マグネシウム	マンガン	ケイ素
7.0	6.0	3.0	3.0	8.0